

園芸市場情報

令和3年3月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

3月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年を上回るか！

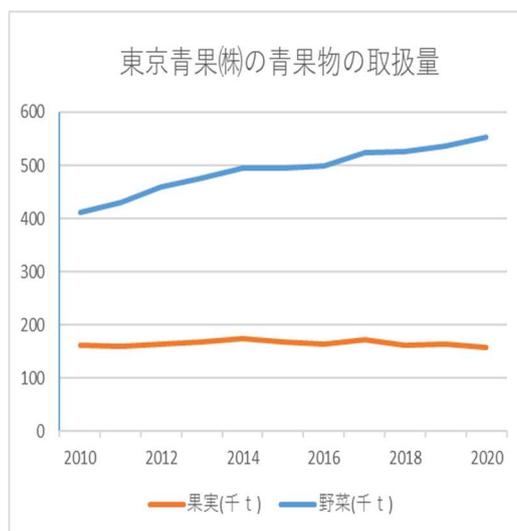
<今月の写真>

* 大田市場東京青果(株)卸売場の2層化工事 *

大田市場東京青果(株)では、卸売場拡大のため、2020年7月から2層化工事が行われています。11月27日には1期工区が完成し、2層化した置場の使用を開始し、また、2021年2月には、2期工事が始まりました。本年7月に完成すると、卸売場の約半分が2層化します。これまで、平成21年のロジスティックセンターの新設、平成23年には、北口立体荷捌場の設置など機能の充実を図りながら、取扱量を増やしてきました。

同社の、2010年から2020年の10年間の取扱量を見てみると、都中央全体の取扱量が減少する中、果実については約16万トンと横ばい、野菜については、約41万トンが55万トンと34%も取扱量が増えています。

現在、商物分離取引など、卸売場を経由しない取引も推進していますが、将来を見据えて市場内の物流の効率のため1年間かけて工事が進められています。



東京青果(株)卸売場

左奥：2期工事場所、右奥：2層化した卸売場（1期工事）

C O N T E N T S (目次)

<p>I 青果情報 2月（中旬まで）の経過 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格 3月の見通し 今月の青果物 特集「なばな」</p>	<p>1頁</p>
<p>II 花き（切花）情報 2月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過） 3月の見通し（カーネーション、ガーベラ、トルコギキョウ） 2月の入荷量と単価の経過 <確定値></p>	<p>6頁</p>
<p>III 千葉県内市場における園芸品の市況概況 1月の青果物と花き</p>	<p>7頁</p>
<p>IV やっちゃんば閑話 「ブランド化（高級化）」</p>	<p>8頁</p>
<p>V 首都圏掲示板 近年のトマト・ミニトマトの情勢について 近年のすいかの情勢について フラワーオークションジャパン(株)でセリ前 Web セールス開始！</p>	<p>9頁</p>

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の幅を示す用語	平年並	：± 2%以内
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：± 3～5%
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：± 6～15%
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
	まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 1月下旬～2月中旬までの経過

気 象	<p>1月下旬は寒気の影響を受けにくく、全国的に気温は高かったが、旬の終わりは冬型の気圧配置が強まり、日本海側で大荒れとなった。2月4日には、関東で過去最も早い春一番が吹き、春と冬のような気温を繰り返しながら15日以降、関東は大雨、日本海側では爆弾低気圧の影響で大雪・寒波が襲った。20日にはまた、春のような陽気となった。</p> <p>気温は、全国的に平年より高い傾向が続き、東北地方・沖縄を除いて特に平年より高くなった。</p> <p>降水量は、西日本や北陸の一部を除いて降雨が多くなった。</p> <p>日照時間は、西日本の日本海側や沖縄の地域では、平年よりとくに長い傾向で、東北、北海道は短い傾向となった。</p>
-----	---

野菜類

入荷量	<p>気温の上昇と降雨により生育が回復した「キャベツ類」「レタス類」など野菜類の多くでは、2月以降潤沢な入荷となった。「トマト」「ミニトマト」は各産地で生育が良く出荷が安定し、前年を上回る入荷が続いた。「ねぎ」は昨年から続く天候不順で、各地で作柄不良傾向となり、入荷量は前年を大幅に下回った。</p> <p>野菜全体では、1月下旬から2月中旬の入荷量は129,631t（前年比101.3%）と前年並だった。</p>
相 場	<p>今後入荷量が減ると見込まれる「にんじん」や絶対量が少ない「ねぎ」では相場高が続いている。入荷量が増えた「キャベツ類」等では価格が前年並まで下落してきている。</p> <p>野菜全体では、1月下旬から2月中旬の価格は237円/kg（前年比108.2%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」が主に入荷した。去年貯蔵量が少なかった「りんご類」は、今年は順調で前年を大幅に上回った。「いちご類」は、花芽分化のタイミングがずれた影響と生育順調のため、前年を上回った。</p> <p>果実全体では、1月下旬から2月中旬までの入荷量は41,924t（前年比116.9%）と前年を大幅に上回った。</p>
相 場	<p>価格は、入荷量の多かった「りんご類」やインバウンド需要がない「メロン類」は前年を大幅に下回り、「いちご類」はかなり下回った。</p> <p>果実全体では、1月下旬から2月中旬までの価格は450円/kg（前年比95.6%）と前年をやや下回った。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2021年1月下旬～2月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年23日・前年22日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	43,891	96.2	244	109.2	44,896	103.4	234	109.8	40,843	104.8	233	105.6	129,631	101.3	237	108.2
うち外国産	990	83.7	262	91.6	1,140	94.8	260	99.9	1,007	85.2	252	107.6	3,137	87.9	258	99.2
果実総量	15,323	116.6	432	99.4	14,144	118.1	449	92.8	12,457	116.1	474	94.7	41,924	116.9	450	95.6
うち外国産	1,283	99.6	189	89.3	1,277	120.6	201	88.8	1,194	109.0	199	87.8	3,753	109.1	196	88.8

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,664	86.6	88	130.7	3,908	93.3	84	132.6	3,253	96.9	77	109.1	10,825	91.9	83	124.5
にんじん	2,675	110.1	138	116.3	2,333	107.9	141	123.2	2,046	100.2	150	133.1	7,053	106.4	143	123.4
はくさい	5,478	109.8	36	68.9	5,613	112.0	33	70.6	4,242	115.5	29	60.7	15,333	112.1	33	67.2
キャベツ類	5,210	85.5	98	160.0	6,325	109.4	66	124.0	6,045	119.5	64	100.3	17,580	103.8	75	126.2
ほうれんそう	575	89.9	563	118.2	670	107.3	424	107.9	676	133.8	358	77.8	1,921	108.6	443	100.0
ねぎ	1,657	79.4	389	180.7	1,423	84.9	470	232.6	1,213	80.9	489	238.3	4,293	81.6	444	213.3
レタス類	2,144	81.7	250	119.2	2,527	96.6	195	113.5	2,563	107.7	174	98.4	7,234	94.9	204	109.3
きゅうり	1,738	128.6	406	60.3	1,709	119.5	465	77.4	1,763	105.3	380	99.8	5,211	116.9	417	77.1
なす	515	111.6	508	91.3	527	110.1	548	106.4	598	117.9	459	95.4	1,639	113.3	503	97.4
トマト	2,229	132.8	277	74.3	2,067	126.6	297	67.2	1,989	126.2	323	75.9	6,285	128.6	298	72.2
ピーマン	556	124.1	686	82.1	547	127.0	782	90.4	573	144.8	721	87.2	1,676	131.5	729	86.6
さといも	224	107.7	367	115.2	195	93.3	358	120.2	163	89.7	361	115.1	581	97.2	362	116.9
ばれいしょ類	2,955	85.9	217	255.2	2,569	86.8	233	269.0	2,178	87.0	235	259.6	7,702	86.5	227	261.1
たまねぎ	3,905	108.3	94	100.0	3,997	101.1	105	121.0	3,573	96.1	104	127.0	11,475	101.7	101	115.4
生しいたけ	264	101.1	1,015	106.3	247	103.2	1,008	108.5	222	102.3	954	103.4	733	102.2	994	106.2
かぼちゃ	750	91.5	210	96.1	771	101.5	168	100.8	645	89.7	154	113.9	2,166	94.2	179	101.7
さやえんどう	64	95.5	1,173	113.0	87	138.2	1,002	99.6	90	128.1	948	93.1	241	120.4	1,027	100.6
かんしょ	1,250	108.8	268	114.5	1,138	116.0	259	113.2	1,016	104.9	258	111.5	3,404	109.9	262	113.2
かぶ	462	107.8	138	106.5	488	126.0	130	100.8	457	127.6	120	86.6	1,407	119.8	129	98.0
ごぼう	212	73.1	472	194.1	190	70.2	498	213.8	148	49.9	526	282.1	550	64.1	496	224.9
こまつ菜	369	86.8	458	139.3	389	100.1	370	130.8	423	112.9	276	93.6	1,182	99.4	364	120.0
こねぎ	148	92.5	831	110.0	147	113.5	749	99.3	151	120.6	718	94.8	446	107.5	766	101.4
糸みつば	42	85.5	423	101.1	47	92.5	401	101.6	44	84.7	338	101.2	134	87.5	387	101.4
しゅんぎく	91	87.1	806	127.3	87	99.0	628	108.1	84	99.6	522	95.9	263	94.7	656	111.3
いら	248	85.4	1,043	151.7	251	105.6	951	133.2	273	111.4	729	99.1	771	99.9	902	126.9
セルリー	293	104.9	181	100.1	297	116.1	215	114.8	280	114.2	234	110.2	870	111.5	210	108.7
カリフラワー	179	65.7	236	134.4	181	105.2	219	110.1	176	146.5	213	85.9	536	94.9	223	112.4
ブロッコリー	1,194	86.8	401	132.5	1,389	110.3	325	111.7	1,394	122.1	306	94.9	3,977	105.3	341	111.9
サラダな	22	77.6	479	114.4	23	104.6	440	102.4	21	87.0	406	103.0	66	88.7	442	106.8
パセリ	14	73.0	1,049	106.3	14	82.0	1,050	114.4	15	86.2	972	112.1	43	80.2	1,023	110.5
チンゲンサイ	123	87.3	368	124.0	122	94.8	319	113.8	119	95.0	275	98.8	363	92.2	321	112.4
ミニトマト	706	126.1	521	76.5	674	123.9	553	69.7	643	119.7	571	80.5	2,024	123.3	547	75.3
いんげん	60	57.2	1,119	149.6	59	77.9	1,081	135.5	56	73.9	1,060	125.5	175	68.2	1,087	137.4
そらまめ	47	99.7	616	108.0	64	104.8	590	95.7	70	129.1	576	97.0	181	111.4	591	99.3
えだまめ	4	236.3	1,643	84.4	2	37.1	1,846	135.2	6	52.9	1,054	103.5	11	65.2	1,366	114.4
やまといも	41	88.6	544	102.7	35	83.3	542	102.9	34	98.9	540	97.7	110	89.7	542	101.3
根しょうが	60	64.1	658	115.1	64	79.7	653	112.4	56	65.2	655	112.0	180	69.3	655	113.2
マッシュルーム	41	79.7	997	108.1	44	92.4	958	103.8	44	100.6	915	97.4	130	90.2	956	103.0

品目 (果実)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	5,903	115.5	258	94.3	4,398	123.0	295	100.5	2,988	134.1	327	103.5	13,288	121.7	286	98.9
(早生みかん)	215	81.3	368	109.4	92	83.4	534	151.2	34	41.9	409	72.9	342	74.7	417	109.5
(普通みかん)	5,687	117.4	254	93.9	4,306	124.3	290	99.4	2,947	137.5	325	106.3	12,940	123.8	282	99.1
かんきつ類	3,126	102.8	347	106.3	3,619	104.8	335	105.1	3,774	105.7	339	106.2	10,519	104.5	340	105.9
りんご類	2,705	132.8	299	87.3	2,732	133.4	277	80.2	2,521	135.7	272	79.1	7,959	133.9	283	82.3
(ふじ)	2,245	133.5	293	85.7	2,282	134.8	274	79.6	2,129	135.9	269	77.8	6,656	134.7	279	81.1
いちご類	1,670	153.9	1,460	86.3	1,745	123.6	1,415	87.0	1,711	103.6	1,413	100.9	5,127	123.5	1,429	92.0
(とちおとめ)	833	142.5	1,361	86.6	872	113.9	1,313	85.2	768	94.8	1,284	96.9	2,473	114.5	1,320	89.9
(あまおう)	232	152.0	1,740	91.6	275	127.5	1,654	90.4	287	100.3	1,649	102.7	794	121.3	1,677	95.9
メロン類	135	110.9	666	63.8	122	102.8	775	90.7	110	113.7	865	98.0	367	108.8	762	81.9
(アールスメロン)	65	102.4	909	60.2	61	109.8	1,080	89.1	57	109.3	1,190	101.5	184	106.9	1,054	80.4
すいか類	41	259.3	300	91.1	19	77.5	414	110.6	35	128.8	336	95.0	95	141.0	336	94.5
(すいか大王)	40	254.5	290	88.8	13	60.6	317	97.0	30	126.1	284	94.0	84	136.0	292	92.2
(こだますいか)	1	1614.3	747	69.8	6	216.3	638	83.3	5	149.5	672	89.6	11	193.7	661	86.9
ぶどう類	59	173.4	1,083	109.1	58	182.9	696	116.3	54	197.9	503	87.3	171	183.8	769	104.4
(シャインマスカット)	15	241.4	2,851	92.7	5	562.7	2,970	113.4	1	652.3	2,807	97.1	21	289.3	2,878	95.4
日本なし類	18	89.5	270	103.0	0	10.1	383	159.5	2	155.2	355	185.0	19	82.1	279	108.7
かき類	167	101.4	438	114.6	50	56.1	440	113.3	12	23.5	570	146.8	229	75.2	445	115.6

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	1,456	91.9	84	121.2	1,397	88.0	86	129.2	980	81.4	88	112.4	3,833	87.6	86	121.2
にんじん	2,207	111.6	142	115.2	1,802	104.9	145	121.9	1,489	97.9	153	129.1	5,497	105.4	146	121.2
キャベツ類	866	71.1	100	154.0	1,366	105.8	71	126.1	1,575	155.7	65	105.4	3,807	108.1	75	123.5
ほうれんそう	52	99.2	487	122.6	64	110.7	349	110.4	62	123.0	293	77.0	178	110.8	369	101.9
ねぎ	482	77.5	406	181.2	528	85.0	482	237.0	534	92.4	500	243.5	1,544	84.8	465	220.0
レタス類	113	65.3	236	111.8	154	94.2	200	127.3	130	87.7	194	118.8	396	81.9	209	116.9
きゅうり	261	108.1	402	63.9	301	98.8	432	77.4	365	101.6	354	97.1	927	102.4	393	78.5
トマト	52	92.3	295	93.0	62	108.4	278	70.1	64	125.1	293	72.3	178	108.1	288	77.5
さといも	22	107.6	347	129.9	21	96.3	360	134.9	15	76.1	322	123.2	58	93.7	345	130.2
かんしょ	655	103.1	251	118.3	629	106.1	248	117.8	564	103.8	251	118.7	1,848	104.3	250	118.2
かぶ	393	103.6	141	108.9	433	123.5	131	102.3	413	126.4	120	87.0	1,239	117.2	130	99.2
こまつ菜	19	98.8	399	126.0	18	127.4	351	128.6	28	156.8	187	74.9	65	126.7	295	104.9
しゅんぎく	38	91.7	802	129.0	36	110.5	628	106.3	34	104.3	525	93.9	107	101.3	657	110.7
サラダな	9	102.0	397	103.1	8	109.4	372	93.6	9	99.7	337	93.1	26	103.4	369	96.9
パセリ	7	76.5	826	97.3	7	95.2	878	101.4	7	102.0	796	101.3	21	90.0	832	99.7
ミニトマト	60	95.1	473	100.9	62	116.7	462	74.8	55	115.0	531	80.4	177	107.9	487	85.0
やまといも	25	92.3	544	99.2	20	87.9	537	99.0	20	103.3	543	98.4	64	93.9	542	98.9

品目 (果実)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	2	134.4	520	72.4	3	128.0	599	100.1	3	195.4	825	99.1	8	150.4	666	94.2
(アールスメロン)	2	134.4	520	72.4	3	128.0	599	100.1	3	195.4	825	99.1	8	150.4	666	94.2
いちご類	24	135.8	1,358	82.6	28	141.5	1,302	83.9	25	99.2	1,294	99.9	77	123.0	1,317	89.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。-は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 3月の見通し

野菜

寒暖の差はあったものの比較的暖かく推移し、降雨もあったため前進化した「キャベツ類」など品目によっては出回りが落ち着くと思われる。「にんじん」では徳島県は前年並か早い出荷ペースになると見込まれる。「ねぎ」では春作の出回りまで、少ない入荷量が続くことが懸念される。「トマト」は主産地の生育は概ね良好、病害虫も大きな問題になっていないため、安定した入荷となる見込みである。

野菜全体では、入荷量は前年を上回り、価格は前年並の見込み。

果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」「みかん類」を中心に入荷する。

入荷量は、「かんきつ類」「みかん類」は下旬から減少する見込み。「りんご類」は、在庫量は多く潤沢な入荷が見込まれる。「いちご類」は、上旬に端境期になり、中下旬からピークを迎える。「メロン類」は、業務不振から休棟している生産者がいるため、前年を下回る。2月下旬からハウスびわ、すいかが始まっている。

価格は、「りんご類」は品薄高だった前年を下回るが平年並み。「いちご類」は、業務需要は弱いが見込みと見込まれる。

果実全体では、入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘	↗↗	↘↘	主産地は神奈川、千葉県。本県のトンネル作は生育順調で、神奈川県は例年より少なめの数量になると予想される。
にんじん	↗	↘	↘↘	↗	主産地は千葉、徳島県。本県は順調に出荷が進んでおり、徳島県は2月下旬からの出荷開始、3月中旬にはまとまった出荷が見込まれる。
キャベツ類	⇒	↗	↓↓↓	↓↓↓	主産地は愛知、千葉県。主要3県で生育は順調で、千葉県や愛知県では前進傾向の出荷が見られたが、3月は少し出方が落ち着くと見込まれる。
ねぎ	↘↘	↘	↑↑	↗↗	主産地は千葉、埼玉県。両産地で作柄は芳しくなく、秋冬ねぎは出荷も前倒し傾向で、春ねぎも一部遅れているため入荷量が少ない状況が続く予想。
きゅうり	⇒	⇒	↘	↗	主産地は群馬、宮崎県。関東産は一時の生育遅れから回復し平年並に、宮崎県は促成が終わる上旬に一度入荷量が減ると見込まれる。
トマト	↗↗	⇒	↘↘	↘	主産地は熊本、栃木県。主産地は生育順調だが、色回りが早まるにつれ徐々に小玉の比率が増えてくと予想される。概ね安定した入荷が見込まれる。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

なばな

主要産地のなばなの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2020年3月入荷量	2020年3月シェア率
千葉	154 t	59.0 %
茨城	38 t	14.6 %
徳島	27 t	10.4 %
香川	22 t	8.3 %

3月入荷予測	340t(前年比130.4%、平年比94.5%)		
3月価格予測	925円(前年比103.5%、平年比101.1%)		
3月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 強保合 ↗

今後の競合産地の動向は?

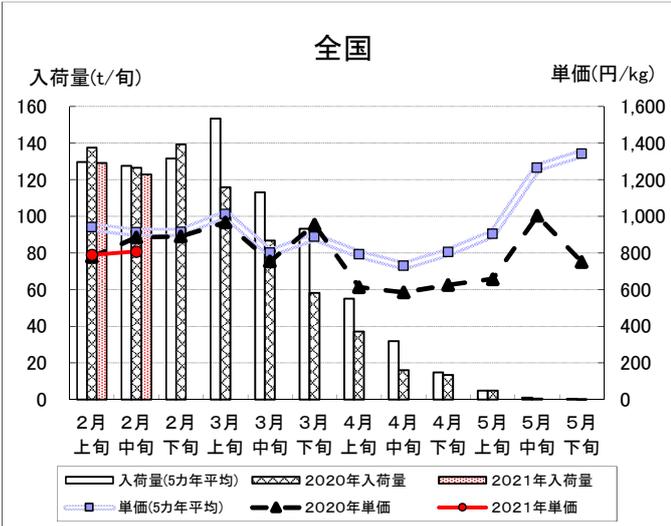
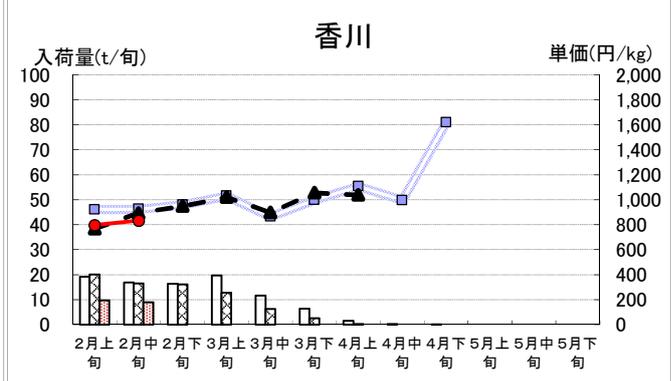
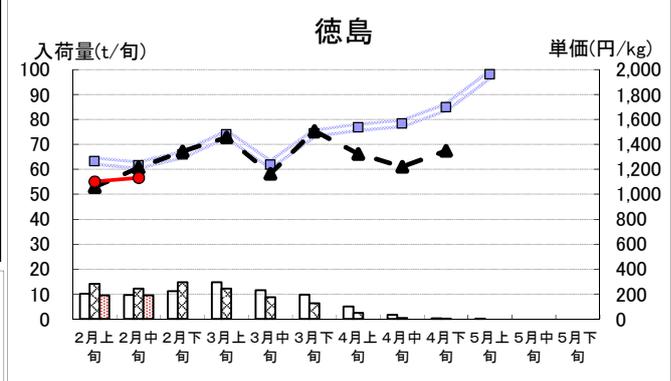
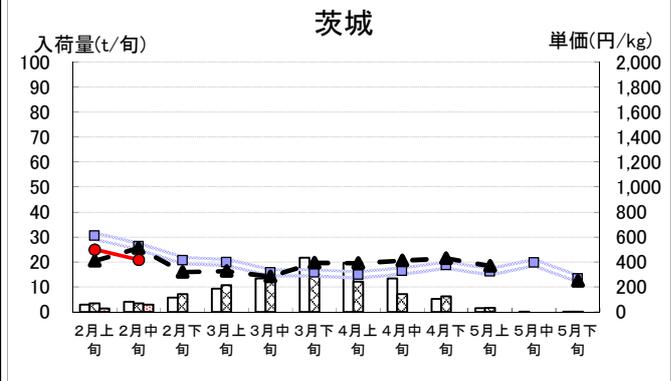
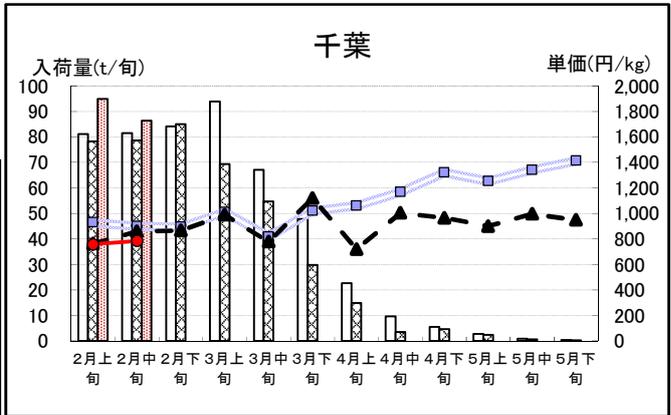
東京都中央卸売市場における3月の「なばな」の主産地は、本県や徳島県、香川県等の四国地方の産地などになります。本県は早生種から晩生種まで組合せ10月下旬から4月頃まで出荷があり、年間の入荷量でも全国1位の産地となっています。「なばな」の入荷量は2、3月にピークを迎えますが、3月3日の桃の節旬には需要が特に高まります。伝統的な荷姿である束出荷に加え、近年はパック、袋、バラ出荷など形態も多様化しています。また、四国産地からは保冷剤入りの発泡スチロールが入荷します。茨城県からは「ちんげん菜花」の入荷もあります。

前年は、台風被害などから本県の出荷量が減り、需要期に応えられない入荷状況となりました。

3月の主産地である千葉県の見通しは以下のとおりです。

気温の上昇や降雨を受けて生育は良く、2月以降は出荷の前進傾向も見られるため、切上りが早まる可能性もあります。

全体の入荷量は、前年を大幅に上回り、平年をやや下回る見込みです。



II 花き(切花)情報

2月(中旬)までの経過

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言延長により、仏花や業務需要の低迷が続く。バラなど赤・ピンク系の洋花については、フラワーバレンタイン需要で引き合いが強まった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	1月下旬は前年・平年を大幅に下回った。2月上旬は前年・平年を大幅に上回り、中旬は前年をかなり上回り平年をやや下回った。
相場	1月下旬は前年を大幅に下回り、平年をかなり下回った。2月上中旬は前年・平年をかなり下回った。
動向	業務需要の低迷が続き品目により上位品の単価が厳しい一方、家庭消費向けは安定した販売となった。

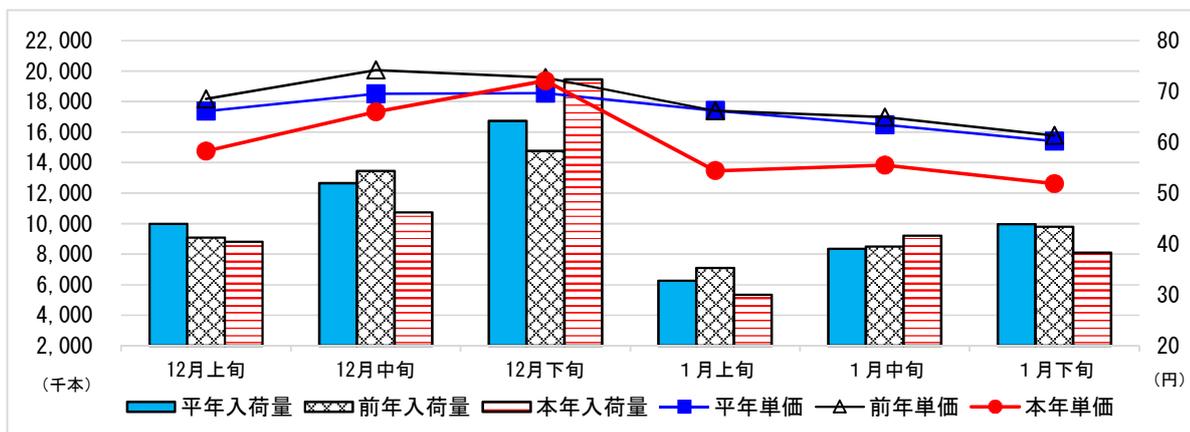
品目別経過

品目	経過
カラー	千葉、愛知ともに寒波の影響もあり、2月初めは入荷が少なかったが、中旬頃より増加し昨年並みの数量となった。上位等級の引き合いが弱く、単価安での取引となった。
ストック	千葉中心に昨年の台風被害から回復し、数量は昨年より多く出回っている。需要面では業務の動きが弱く、ブーケメーカー中心となっており、品薄の昨年より低い価格で推移した。
バラ	入荷は少なく、バレンタインで赤・ピンク系の引き合いが強まった。

3月の見通し

品目	見通し
カーネーション	各産地、概ね生育は安定しており、例年通りの出荷となる見込み。輸入品は昨年並みの入荷を予定。お彼岸・送別需要等で、中旬以降引き合いが強まる見込み。
ガーベラ	静岡中心に数量は昨年並み～やや増で推移する見込み。卒業関連の動きがやや見込めるが、ブーケメーカー向けが主体である。
トルコギキョウ	お彼岸に向け各産地入荷が増える見込み。卒業式などの開催は不透明だが、引き合いは強いと見込まれる。

2月の入荷量と単価の経過<確定値>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R3.1月				累計 (R3.1～R3.1月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	17,811	0.90	192	1.10	17,811	0.90	192	1.10
だいこん	2,145	0.92	84	1.18	2,145	0.92	84	1.18
にんじん	1,103	1.01	121	1.06	1,103	1.01	121	1.06
はくさい	2,282	1.04	43	0.71	2,282	1.04	43	0.71
キャベツ	2,668	0.84	90	1.36	2,668	0.84	90	1.36
ねぎ	721	0.79	368	1.67	721	0.79	368	1.67
トマト	582	1.02	299	0.88	582	1.02	299	0.88
きゅうり	474	1.22	385	0.65	474	1.22	385	0.65
ばれいしょ	819	0.67	198	2.41	819	0.67	198	2.41
たまねぎ	1,934	1.00	78	1.01	1,934	1.00	78	1.01
レタス	698	0.80	220	1.15	698	0.80	220	1.15
果実	4,920	1.12	365	0.95	4,920	1.12	365	0.95
みかん	1,899	1.19	219	0.93	1,899	1.19	219	0.93
かき類	16	0.23	441	1.21	16	0.23	441	1.21
グレープフルーツ	38	0.93	232	0.88	38	0.93	232	0.88
なし類	5	0.28	272	1.05	5	0.28	272	1.05
ぶどう類	30	1.40	701	0.93	30	1.40	701	0.93
いちご類	518	1.48	1,338	0.80	518	1.48	1,338	0.80
すいか類	0	0.09	303	0.82	0	0.09	303	0.82
メロン類	16	0.54	632	1.17	16	0.54	632	1.17
バナナ	416	0.99	138	1.00	416	0.99	138	1.00
りんご	675	1.16	271	0.86	675	1.16	271	0.86
その他	215	0.82	327	1.04	215	0.82	327	1.04
青果物合計	22,946	0.94	231	1.08	22,946	0.94	231	1.08

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R3.1月				累計 (R3.1～R3.1月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	761	0.75	56	0.86	761	0.75	56	0.86
きく	197	0.71	60	0.83	197	0.71	60	0.83
バラ	20	0.66	107	1.05	20	0.66	107	1.05
カーネーション	133	0.88	41	0.87	133	0.88	41	0.87
枝物	18	0.56	78	1.05	18	0.56	78	1.05
鉢物	44	0.80	171	0.99	44	0.80	171	0.99
その他	1	1.00	31	0.37	1	1.00	31	0.37
花き合計	824	0.74	63	0.88	824	0.74	63	0.88

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV やっらやば閑話 「ブランド化（高級化）」

とうとう一年が終わってしまいます。今の部署に異動してきて、通常の業務が思うようにできず、関係者と会うのも一苦勞という中で、何ができるのだろうと考えることが多かった1年です。一方、果実担当として勉強と称して色々食べた日々でした。

この1年間で感じたことは、「果実は品種が多い」です。野菜でもきちんと確認すれば品種はたくさんあります。「だいこん」1つとっても1農家で1年間10品種近くを栽培しますが、店頭で見かけるのは「だいこん」の文字だけ。一方、果実は品種毎に味や見た目、香り、食感などが異なるため、品種名で店頭に並びます。（野菜も厳格に比べれば見た目も味も異なるんですよ。）

次に感じたことは、各県オリジナル品種（種子繁殖が難しいもの・時間がかかるもの）を育成していることです。ぶどうに関して言えば、個人で育種をしている人も多く、ネットで調べるととても多くの品種が見つかり、驚きました。市場に来て、ぶどう、かんきつ、いちご、なし、かき、キウイと様々な品種が各県から育成されていて、今までどれだけ果実に無頓着だったかを思い知りました。

前回の掲示板「中晩柑の時期です」でも書きましたが、生産者の減少を止められない中で、生産者の売上げ確保や栽培面積の維持は重要事項です。このような状況で高単価で売れる「ブランド果実」が成立すると、若い農家は希望に満ち、頑張ろうと思えるのかなあとと思います（栽培技術や管理は大変ですが…）。「高級ブランド果実」としては、愛媛県の育成品種「愛媛果試第28号」や「甘平」をJA全農えひめが「紅まどんな」や「クイーンズプラッシュ」、石川県の育成品種「ルビーロマン」などがあり、どのブランドも厳格な出荷基準を設けて高品質・高価格での販売を行っています。果樹の新品種は、本格出荷となる（樹ができ収量が増えてくる）前に「ブランド」としてのイメージを、相談・試食・市場内PRを行いながら卸や仲卸につけ、果実専門店や百貨店などから求められる時に量も増えてくるという戦略をとっているように感じます。（「ルビーロマン」など選果基準や栽培も厳しく、求められても量がとれていないブランドもあります）

このような中で、「ブランド化の戦略」はとても大事なものだと感じました。一度悪いイメージがついてしまうと次に手に取ってもらうのは容易ではありません。味も重要な品目の場合、栽培の容易さの育種目標だけでなく、どこをターゲットにどのように売っていくか「ブランド化の戦略」は育種の前から始まっていると思います。

前職の時に1人が1品種作るのに10年、センスのある人で5年と言われました。それが果樹となるともっと時間がかかると思います。とても長い年月をかけ試行を繰り返して世に出る新品種たちが、多くの人々の口に入ることを願い、私は色々食べてなぜ売れるかを感じてみようと思います。

土日も外出自粛中

V 首都圏揭示板



近年のトマト・ミニトマトの情勢について

東京都中央卸売市場におけるトマト（中玉トマト含む）の入荷量は2014年をピークに減少しています。一方で、ミニトマトの入荷量は年々増加する傾向にあります。ミニトマトの入荷量を主産県別に見ると、熊本県と夏秋トマト産地である北海道や青森県などは、直近10年間で倍以上に増えています。

量販店バイヤーや青果専門店の仕入れ担当にお話を伺ったところ、ミニトマトは食味の安定感や手軽さ（包丁を使わないで食べられる、ドリップがないのでお弁当などに入れやすいなど）などから、アイテム数が多いトマト売場の中でも扱う比率が増えているようです。大玉トマトでは、色回りや色の揃い、また食味（特に消費が鈍る冬場）等を重視されているようです。お客さんを飽きさせないために、小箱やスタンドパックなどアイテム品の充実も期待されています。

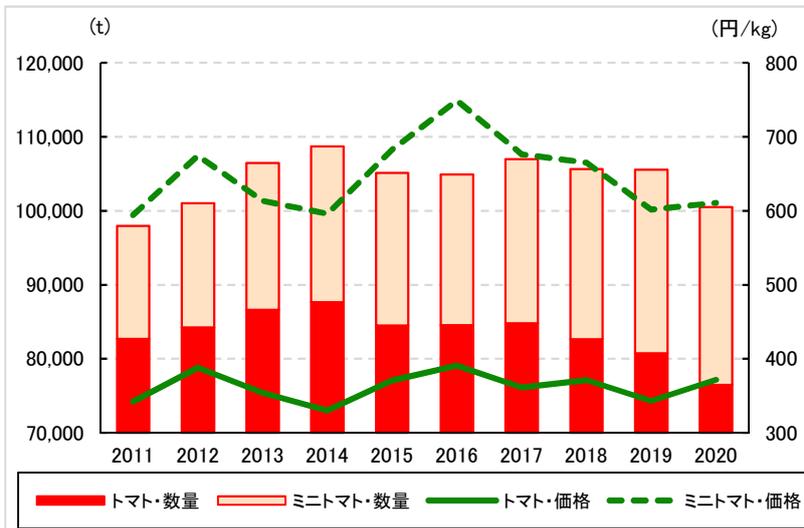


図1 都中央卸売市場における入荷量・価格の推移



写真1 ばら詰め出荷されたミニトマト(上:北海道産、下:熊本県産)

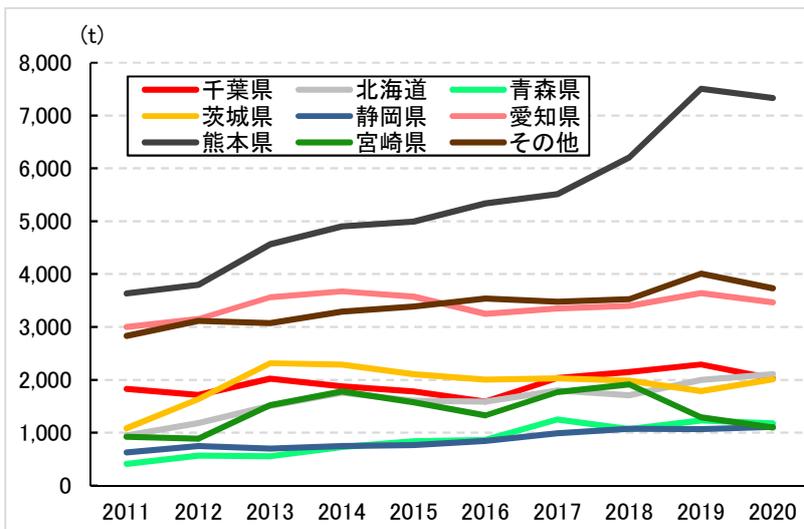


図2 ミニトマトの主産地別入荷量の推移



写真2 ある量販店のトマト売場の一角。大玉、ミディ以外に多種多様の産地や品種のミニトマトが並ぶ。

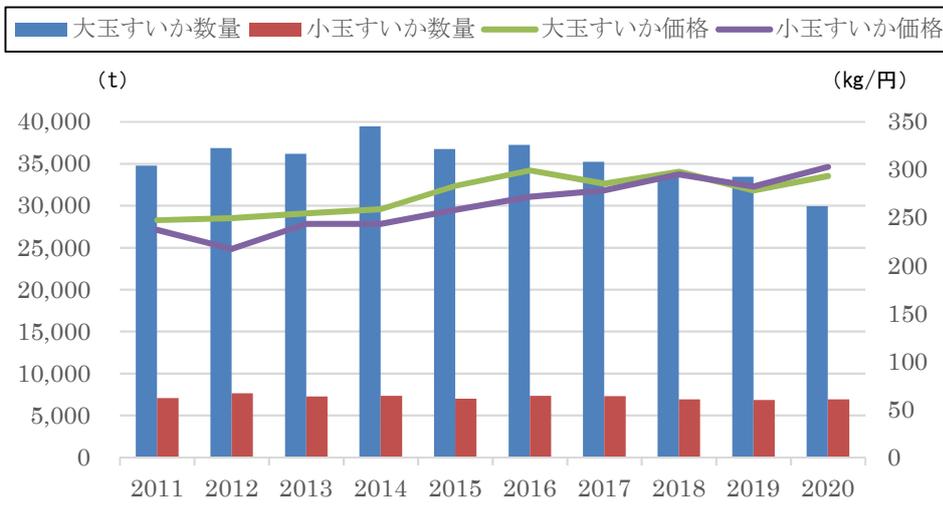


近年のすいかの情勢について

東京都中央卸売市場における大玉すいかの入荷量は2014年をピークに減少しています。一方、小玉すいかの入荷量は2012年がピークですが、10年前とほぼ変わっていません。主産県別に見ると大玉すいかでは、熊本県がやや減に対し、千葉県と山形県は大幅に減らしています。特に山形県は2020年に4月の低温と長梅雨の影響で大幅に減らしました。一方、新潟県は直近10年間で増やしています。小玉すいかでは、茨城県は増加傾向にありますが、他県は減～維持で推移しています。

近年、量販店では大玉すいか1玉は1家庭では大きすぎることからカットしたり、カップ入りのブロックが売れていると聞きます。また、種無しすいかの受けが良いそうです（美味しいということが前提にあります）。

産地によっては、スタンドパックやシールなどの販促資材を作成し、店頭



PRを行っています。



写真

大田市場には3月から関東産小玉すいかが入荷しています。

図1 都中央卸売市場における入荷量・価格の推移

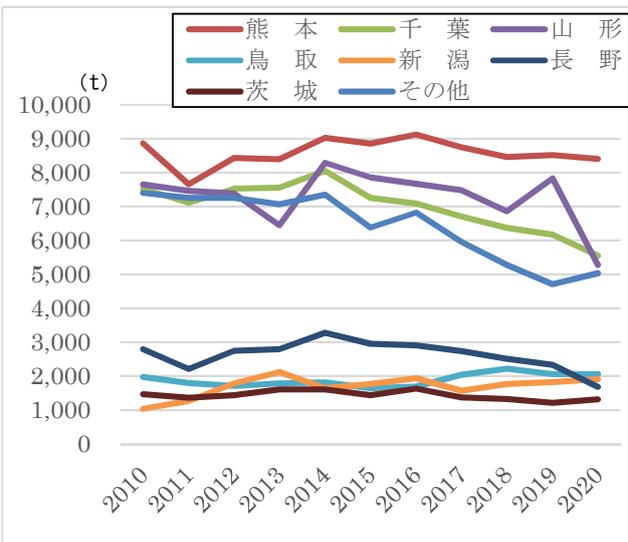


図2 大玉すいかの主産地別入荷量の推移

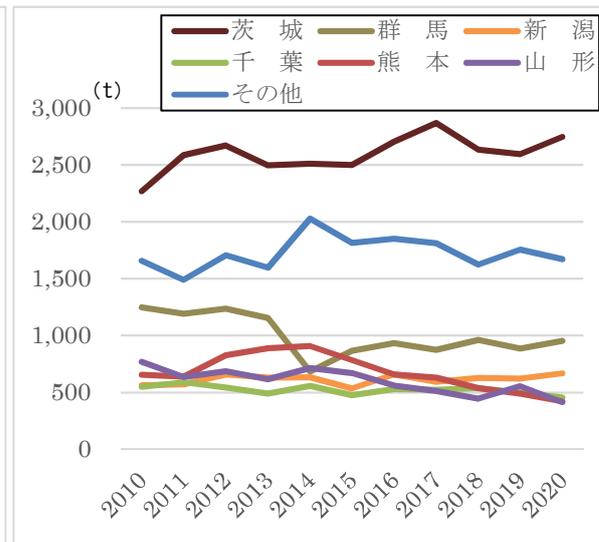


図3 小玉すいかの主産地別入荷量の推移



フラワーオークションジャパン（株）でセリ前 Web セールス開始！

フラワーオークションジャパン（株）では、2/8（月）からセリ取引開始前に行っていた産地による商品 PR を Web による中継でも利用できるようになりました。

コロナ禍で各産地が市場に来場してトップセールスなどを行うことが難しくなっている中、Zoom などを使い産地とセリ場をオンラインでつなげ、リアルタイムで産地の声を買参人に届ける取り組みとなっています。この web セールスは、オークションルームのスクリーンだけではなく、在宅ゼリ参加者にも配信されます。また、栽培の様子なども画面を通して伝えることができます。

お申し込み・問い合わせについては、同社のホームページ (<https://www.faj.co.jp/>) をご覧ください。